

## 評価結果調書

## 1 事業の概要について

項目	内容
① 事業名	大阪市営住宅建替事業 (木川第1住宅1、2号館建設工事、八幡屋第1住宅2号館建設工事、三軒家住宅8号館建設工事、長吉長原北住宅1号館建設工事、西喜連第2住宅1号館建設工事)
② 担当部署	都市整備局住宅部建設課 (06-6208-9243)
③ 事業目的	市営住宅の建替え
④ 事業内容	別紙のとおり

## 2 PPP/PFI手法を導入しないこととした理由について

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅の建替えにあたっては、均質な水準の確保のために設計の標準化を進めてきており、すでに建設時のコスト縮減が図られていることから、PPP/PFI手法を導入した場合の民間事業者の創意工夫による効果が極めて限定的となるほか、PFI手法(BOT方式)を導入した場合には維持管理の単位が細分化されることから、スケールメリットが働きにくいといったデメリットが考えられる。</li> <li>・「簡易な検討の計算表」を用いた定量評価では、理論値としての財政支出削減率(VFM)は生じるが、他都市におけるPFI手法(BT方式)を導入した公営住宅建替事例と、本市の従来型手法による建替事業の契約額を比較すると、本市の従来型手法による契約額の方が低くなっているものも多く見られ、PFI手法を採用した場合コスト増になる可能性も考えられる。</li> <li>・以上を総合的に勘案し、選択したPPP/PFI手法を不採用とした。</li> </ul>
--

## 3 定量評価結果

別紙のとおり